

1 第一回校内研究全体会4月19日(水)

限られた時間の中ではありましたが、沢山の御意見をありがとうございました。

【手立てについて分科会意見】

項目	ポイント	疑問・悩み
関わり合う場の設定	① 少人数のグループで ② 話し合いの習慣化 ③ 子供同士で関わり合う経験をさせる ④ 教師主導だと「やらされている感覚」なので児童が「伝えたい聞きたい」と思える課題設定の工夫が必要	① タブレットへの入力 が目的になると、児童の関わり合いが減少する。 ② 教師と児童の思う「関わり合い」のずれも生じることがある。
意欲を高める授業づくり	① 調べる→伝えるの繰り返し ② 課題に向かうためのグループ作り ③ 自分で表現媒体を選択する ④ 動画や画像資料での刺激 ※学習の進化統合に向かうための資料 ⑤ 個々の興味や力に合わせてゴールは違っても、スタートは同じにする ※低位の児童も取りかかれるミッション	① オンライン上で意見共有できることは便利だが、直接の会話が減少してしまう。
考えの可視化と共有	① 発表方法の選択肢（紙芝居・スライドなど） ② 目的に合わせてアプリを活用（ジャムボード・ポジショニング・フォームなど）	

【講師の今野貴之先生からの助言】

① 研究の進め方について



- ※ 研究授業は提案。
- ※ 今日より明日と少しずつ授業改善を短いサイクルで積み重ねていきたい。
- ※ 教師も対話・雑談を大切に。

全体会后、疑問に答えていただきました

② タブレットに入力することが目的になってしまい、児童同士の関わり合いが薄くなってしまふ。



- ※ ゴールとしてのICTではなく、対話のきっかけになるような資料としてのICTになるように位置付けたい。

③ スライドを美しくまとめることに力を入れすぎたり、ウェブ上の膨大な情報を眺めて時間が過ぎたり、横道にそれてしまうことがある。



- ※ 教師が意図的に時間を区切ることが重要。
例：タブレットなしで悩む時間→調べてまとめる時間（〇分以内で）

2 次回校内研究全体会にむけて

第二回研究全大会 5月24日(水) 14:30~15:30

- ① 講師講話 … 「関わり合い」についてのワーク
- ② 分科会 … 研究授業における

※1~2学期の授業者は、分科会長と相談しながら、授業についてたたき台になるような資料を御用意ください。

※全体会后、1~2学期の研究授業について相談にのっていただけるように、依頼しています。分科会毎に声掛けしますので、参加可能な先生は御予定ください。

3 今週の授業改善 5月よりスタートします！

夕会の最後に時間が確保できそうな日は、「今週の授業改善」として、日頃の授業の工夫や研究テーマについての実践を報告できる時間を持ちましょう。



- ・1回に1人程度 (学期中に1人1回は順番が回る予定)
- ・高→中→低の順で声掛けしますが、割り込みOK
- ・口頭でも研究クラスルームに投稿してもよし
- ・失敗談や質問もOK
- ・「関わり合い」「意欲を高める授業作り」「可視化・共有」がメインテーマ

※クラスルームに各名称で授業を立ち上げますので資料として配布してください。

4 研究授業(案)

沢山の先生方が授業者として手を挙げてくださいました。教科は候補ですので、他学年の内容も御覧いただき、様々な教科で実践報告できるように御相談ください。